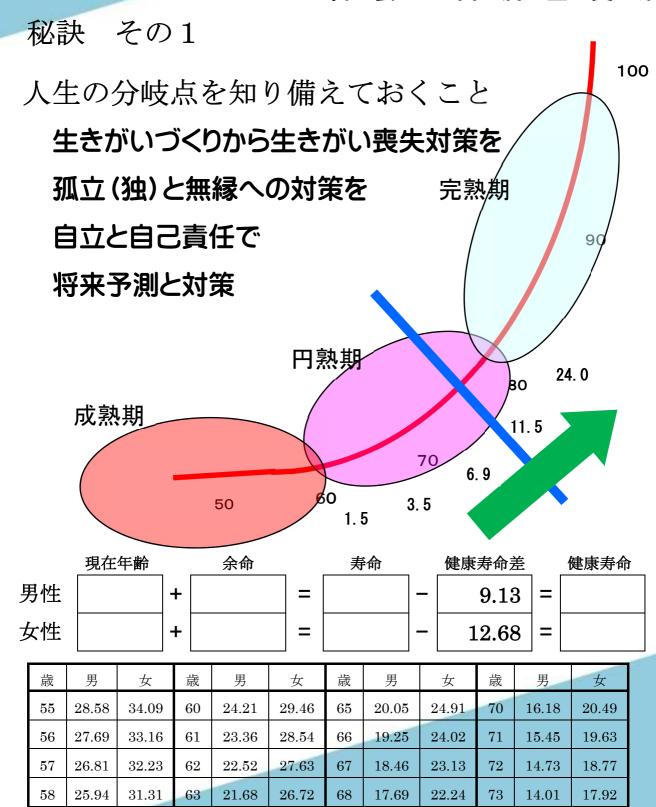
~第2の人生も輝かせるために~「生涯現役で生きるための秘訣」

生きがい支援システム研究所代表 臼倉登貴雄

17.08

13.32



25.82

69

厚生労働省 令和2年簡易生命表(2021.07.30)

16.93

21.36

25.07

59

30.38

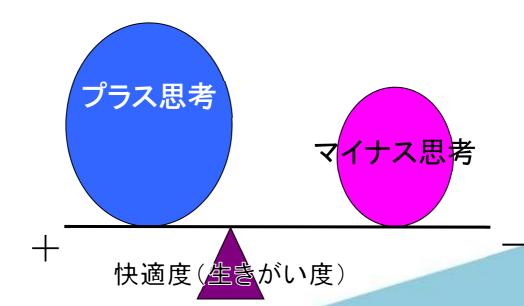
64

20.86

豊かに生きるために、心がけること

ゆとりを持って生きていく

プラス思考で生きていく



生涯活躍で生きていく

楽しく生きるために、心がけること

秘訣 その4

地域で豊かに楽しく生きていくためには

- ◆ あいさつを交わそう
- ◆ ギブアンドテイクの関係をつくろう
- ◆ 立ち話を率先してするようにしょう
- ◆ お互いに相談し合う関係になろう
- ◆ 祭りや行事には積極的に参加しょう
- ◆ 趣味やスポーツなどを一緒に行おう
- ◆ お茶や食事を一緒にするようにしょう
- ◆ 見守り合う関係になろう

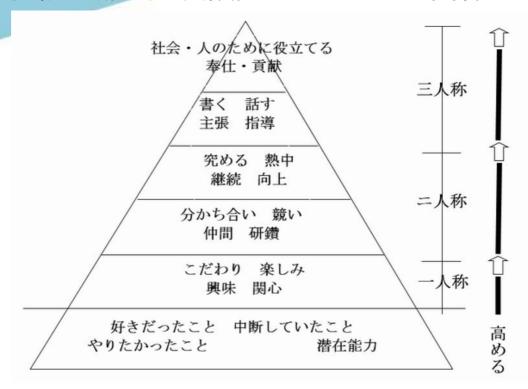
求められる要素

第一の要素 〈時間、空間、仲間〉 第二の要素 〈氣(体)力、金力、技力〉 第三の要素 〈情報、組織、道具(車も)〉 第四の要素 〈意欲(情熱)、計画、挑戦、向上心、夢〉

やること 役割 目標

生きがいを発展させること

余暇活動の発展段階と生きがいの関係



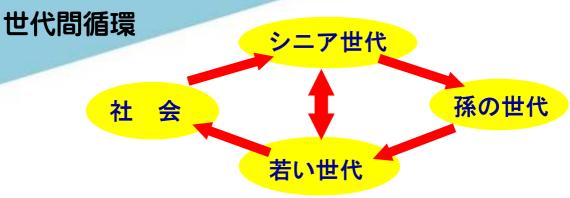
生きがいを感じるために必要なこと

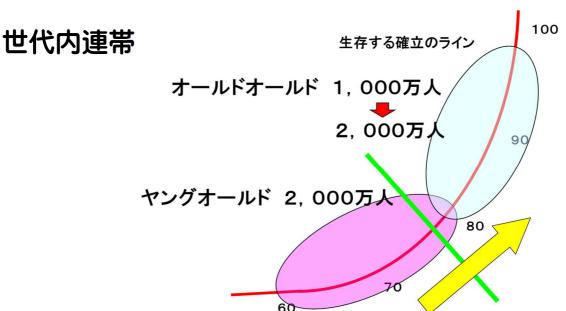
- 1. やることがあること
- 2. 目標や目的があること
- 3. 一緒にするひとがいること
- 4. 存在が認められていること
- 5. 役割があること
- 6. 感じる心があること
- 7. 心の支えや拠り所があること

生きがい能力を高める方法

- ①素質 環境 習得
- ②行動 思考 態度
- ③感性

これからの人生を生きていくためには





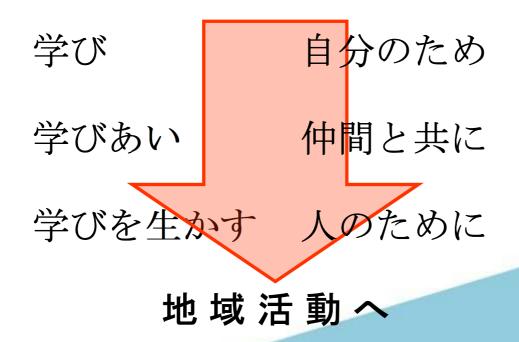
生きがい就労

- 趣味・特技を発展させる
- ボランティア活動を発展させる
- NPO法人を立ち上げる、または参画する
- アマプロを目指す
- コミュニティ・ビジネスに参画する
- ソーシャル・ビジネスに参画する
- ワークシェアリングを構築する
- 世代内連帯と世代間循環の分野で
- 短・楽・長、自己中で働く

生涯学習で人生を豊かに

- ◆ 趣味を豊かにするために
- ◆ 老後の人生を有意義にするために
- ◆ 健康・体力づくりのために
- ◆ 他の人と親睦を深めたりするために
- ◆ 教養を高めるために
- ◆ 自由時間を有効に活用するために
- ◆ 社会に遅れず世の中を知るために
- ◆ 家庭・日常生活や地域を良くするために
- ◆ 高度な専門的知識を身につけるために
- ◆ 現在の仕事や就職・転職に役立てるために

生涯学習を発展させる



共の時代 (ナレッジライフ) を築く

提案:これからの生き方

ナレツジライフ



支え合いの生き方

孤立(独)と無縁への対策と生きがいのために

共感 共に感じあえる、相手を率直に受け入れる

共生 共に生きる

共育 共に育つ、育てる

共働 共に働く、共に汗を流す

共助 共に助け合う、支えあう

共益 共に利益をえる

共存 共に存在する、認めあう

共有 共に保有する

共栄 共に栄える

共創 共に創りあげる